

エムティーアイ通信

報告書 2014年 9月期

2013.10.1 - 2014.9.30

株主の
皆さまへ

株式会社エムティーアイ

〒163-1435
東京都新宿区西新宿 3-20-2
東京オペラシティタワー 35F
<http://www.mti.co.jp>



「エムティーアイ通信」は、風力で発電されたグリーン電力にて刷版を出力、印刷しています。

※当「エムティーアイ通信」の刷版出力に必要な電力量を1.8kWh、5,800部を印刷するのに必要な電力量を99kWhと計算しています

本紙は、環境に優しい森林認証取得用紙を使用しています。



INTRODUCTION

はじめに

来期営業利益予想 30.5億円

—さらなる利益拡大に向けて—

今期の営業利益は25.5億円となり、
前期11.4億円から大きく増加
させることができました。
当社の強みを活かしながら
来期営業利益30.5億円
(前期比19.3%増)の
達成を目指します。



過去最高益は
2011年9月期の
37億円!



TOP MESSAGE

トップメッセージ



増収・増益、増配！ スマートフォン有料会員数は 540万人まで拡大

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2014年9月期は、最大商戦期（3月）を中心に積極的なプロモーションを展開し、スマートフォン有料会員数の拡大に注力しました。

4月以降は、全国主要都市に営業拠点を順次設置し、携帯ショップをきめ細かくサポートできる体制を構築しました。その結果、2014年9月末のスマートフォン有料会員数は、スマートフォン販売台数に一服感がみられる状況にもかかわらず、540万人（2013年9月末比64万人増）まで拡大しました。全体有料会員数は、

連結業績

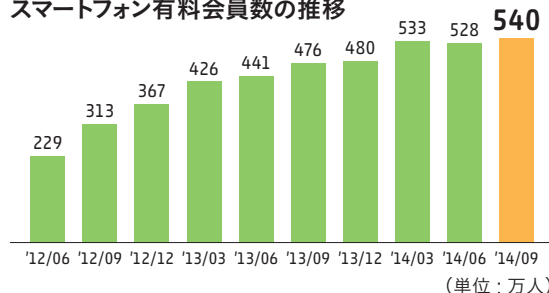
	2014年9月期	2013年9月期
売上高	309億85百万円	301億60百万円
営業利益	25億57百万円	11億49百万円
経常利益	25億19百万円	11億19百万円
当期純利益	13億37百万円	5億16百万円

1株当たり配当金

	中間配当金	期末配当金	年間配当金
2013年 9月期末実績	—	12.5円	12.5円
2014年 9月期末実績	5円	12円	17円

※当社は、2014年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っています。1株当たり配当金は当該株式分割後の数値を記載しています。

スマートフォン有料会員数の推移



フィーチャーフォン有料会員数の減少傾向が続いていきますので、786万人（同18万人減）となりました。

連結業績については、他社コンテンツの販売促進を行うリアルアフィリエイト（RAF）事業の拡大や、携帯キャリア系月額定額使い放題サービス向けの売上高の拡大等により、売上高は309億85百万円（前期比2.7%増）、営業利益は25億57百万円（前期比122.5%増）と大幅な増益となりました。

なお、連結業績の利益が当初予想を大きく上回りましたので、1株当たり期末配当金については、直近予想から2円増加の12円とさせていただきます。

来期も増収・増益、増配予想！ ARPU（顧客単価）向上にも 取り組みます

来期も、引き続きスマートフォン有料会員数の拡大に注力するとともに、顧客単価（ARPU）の向上にも取り組みます。

当社の強みであるRAFネットワークをさらに強化するために、今期の下期に全国主要都市に計9つの営業拠点（東京本社除く）を設置しましたので、全国の携帯ショップへのサポートをより強化することにより、携帯ショップからの新規入会者数の拡大に取り組みます。

音楽配信サービス『music.jp』における書籍・コミックとの統合や、女性向け健康情報サービス『ルナルナ』における「妊活」ニーズに対応した妊活から育児までのサービス拡充、天気情報サービスにおける地域密着型天気情報の提供等を通じて、有料会員数の拡大およびARPU（顧客単価）の向上にも取り組みます。

さらに当社では、中長期的にポテンシャルが高い分野であると考えていますので、数種類のヘルスケアサービスを展開しています。2014年4月より遺伝子解析サービスを開始するなど、ヘルスケアサービスを

2015年9月期 基本方針

- スマートフォン有料会員数のさらなる拡大
>> RAFネットワークの強化
- 顧客単価（ARPU）の向上
>> コンテンツ・サービスの充実
- 中長期的な取り組み
>> ヘルスケアサービスの事業領域拡大



2015年9月期 連結業績予想

売上高	315 億円
営業利益	30.5 億円
経常利益	30 億円
当期純利益	16 億円

2015年9月期 1株当たり配当金予想

中間配当金	期末配当金	年間配当金
8円	10円	18円

早期に軌道に乗せられるように、『ルナルナ』の顧客基盤を活かしながら、展開していきます。

株主の皆さまには、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長

前多 俊宏



2015年9月期の
取り組みについて
お伝えします。



Special Feature

有効な入会導線の RAFネットワークを さらに強化！

当社の強みは、全国の携帯ショップに来店されるお客さまに、自社・他社コンテンツを販売促進する販売チャネルネットワークを圧倒的NO.1の規模で有していることです。

RAFネットワークは、スマートフォンの普及以降、有料会員の獲得に最も貢献していますので、このRAFネットワークをさらに強化していくことで、スマートフォン有料会員数を拡大していきます。

具体的には、全国の携帯ショップへのサポート体制を強化するために、2014年9月期下期以降に、全国主要都市に営業拠点を設置しました。これにより、携帯ショップへの訪問数が増え、コンテンツ販売促進をきめ細かくサポートする体制が整いました。

さらに来期より、コンテンツ退会率に応じた携帯ショップ別の報酬制度の導入を進めています。これにより、携帯ショップに来店されたお客さまへのコンテンツのより丁寧な説明を浸透させ、退会率の低下に繋がっていきます。

これらの量的および質的なアプローチを粘り強く行い、有料会員の「新規入会者数の増加」と「退会率の改善」を通じて、スマートフォン有料会員数のさらなる拡大を目指します。

2014年9月期下期～

営業拠点設置による きめ細かいサポート体制の構築

北海道・東北・北関東・北陸・東京
東海・関西・中国四国・九州・沖縄

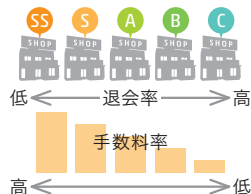


量的
アプローチ

新規
入会者数
増加！

2015年9月期～

携帯ショップ別の 退会率別 報酬制度の導入



質的
アプローチ

退会率の
改善！

3つの主力サービスを拡充!

～顧客単価の向上～

2015年9月期は、スマートフォン有料会員数のさらなる拡大とともに顧客単価 (ARPU) の向上にも取り組みます。

具体的には、音楽配信、健康情報および、天気情報の3つの主力サービスの充実を追求することで、その達成を目指していきます。

1 音楽配信サービス『music.jp』 書籍・コミックも楽しめる!

音楽配信サービス『music.jp』(月額300円・税抜)は、J-POP等の最新曲のラインナップが充実しています。今秋よりお客さまがご利用しやすいサービスとなるよう、書籍・コミックも配信する『music.jp 音楽と本の店』(月額400円・税抜)としてサービスを刷新しました。

さらに来春には、動画配信サービスの追加も予定し、人気の高いジャンルをまとめてご利用いただけるようになります。



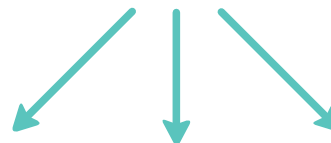
統合ダウンロードサービス



月額 400 円で...



1つのアカウントで
音楽・書籍・コミックから好きな作品を
ダウンロードできる!



音楽配信



書籍配信



コミック配信

+ 動画
配信

音楽、書籍・コミック、動画

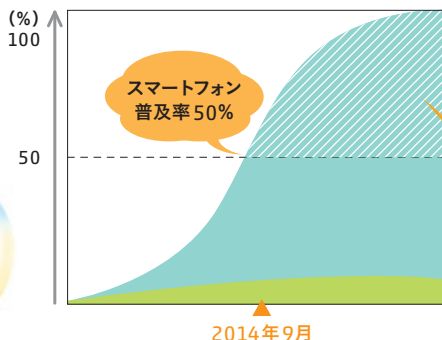
統合ダウンロードサービス 開始の背景

当社は、p11でご説明のとおり、主力の『music.jp』に加え、書籍・コミック、動画を組み合わせた統合ダウンロードサービスとして、サービス内容を大幅に刷新します。この刷新を行ったのは、次の3つの背景があるからです。

1 より分かりやすく、より使いやすい ものを好むユーザー層へ

既にスマートフォン普及率は過半数を超えたことから、今後スマートフォンを購入する方は、より分かりやすくより使いやすいサービスを好まれる傾向が強いと予想されます。こうした傾向に対応するために、特に人気の高いサービスを組み合わせることにより、1つの窓口から同サービスを利用できるようにします。

新サービス普及率のイメージ



ユーザーニーズの変化

スマートフォン・コンテンツに何を求めるか

スマートフォン登場時

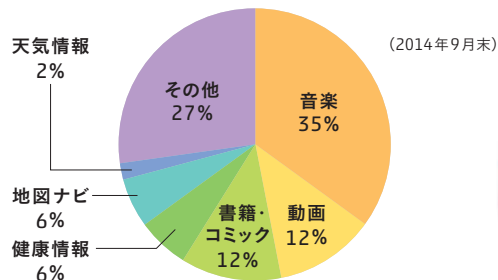
現在

●革命的技術・機能 → ●分かりやすさ・使いやすさ

2 今後は3つのカテゴリーが主流に

当社のRAFネットワーク経由でお客さまが入会されるサービスのうち、音楽、書籍・コミック、動画の入会比率が最も高く、全体の6割を占めています。この3つのジャンルが特に人気が高いことを示していることから、今回の統合ダウンロードサービスの組み合わせに繋がっています。

RAF ネットワークによる取扱いコンテンツ



3 市場拡大余地の大きい 動画、書籍・コミックに注目

音楽のネット化は34.2%まで進んでいますが、書籍・コミック、動画のネット化についてはまだ10%にも満たないことから、市場拡大余地の大きい市場であることが予想されます。この3つのジャンルを組み合わせることにより、今後の成長機会を捉えた展開が可能になると考えています。

ネットへのシフトが進んでいる

日本のリアル市場	日本のネット市場	ネット比率
音楽 2,300億円	音楽配信 1,196億円	34.2%
動画(TV・ビデオ) 1.5兆円	動画配信 1,016億円	6.3%
書籍・コミック 2.1兆円	書籍・コミック配信 729億円	3.4%

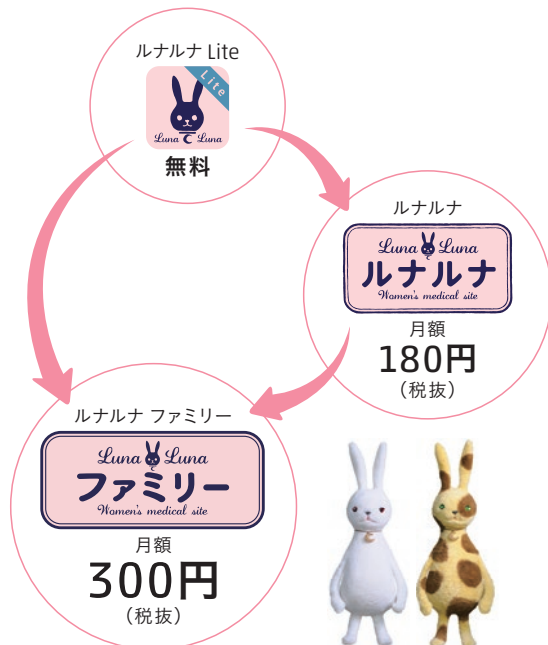
※「情報メディア白書2014」より当社作成

2 女性向け健康情報サービス『ルナルナ』 『妊活』ニーズに対応！

『ルナルナ』（月額180円・税抜）は、女性向け健康情報サービスとしてその知名度も高く、当社サービスのなかでも特に長期にわたりご利用いただいているサービスです。

最近では、『妊活』ニーズが高まっていますので、そのニーズに対応するために、妊活・妊娠・育児までをより長期にわたりサポートする『ルナルナ ファミリー』（月額300円・税抜）としてサービスを拡充しました。

『妊活』ユーザーの拡大



3 天気情報サービス『ライフレンジャー天気』 地域密着型天気情報へ！

『ライフレンジャー天気』（月額100円／プレミアムコース月額300円・税抜）は、今までよりもさらにきめ細かな気象情報等を提供する、お客さまの生活に密着した「便利で使える」サービスです。

火山灰や黄砂等の地域特性のある気象情報に加え、季節のイベント情報等も随時提供していくことで、より身近に感じられる地域密着型天気情報として、サービスの内容をさらに充実させていきます。

地域に密着した天気情報



プレミアムコース
月額 **300円** (税抜)



九州・沖縄地方で TVCM も放送！

～将来の成長市場に注目～

4つのヘルスケアサービスに注力！

ヘルスケアサービスは、今後市場の大きな成長が期待できる分野と考えているため、当社では、中長期的に取り組んでいく事業の1つとして位置付けています。

現在、次の4つのヘルスケアサービスを展開しています。

- ① 女性向け健康情報サービス
- ② 医師等への相談サービス
- ③ 機器連携サービス
- ④ 遺伝子解析サービス

1 女性向け健康情報サービス

『ルナルナ』は、携帯やスマートフォンで簡単に体調管理ができる、女性のための健康情報サービスです。『ルナルナ』を中核サイトとして、無料で生理日・排卵日予測が管理できる『ルナルナLite』や、妊活・妊娠・育児までを長期にわたりサポートする『ルナルナ ファミリー』も展開しています。

妊活から育児までを
長期にわたりサポート
『ルナルナ ファミリー』



2 医師等への相談サービス

『カラダメディカ』は、24時間365日医師・看護師・薬剤師等にメールや電話で相談できる健康情報Q&Aサービスです。日々の悩みや不安に対して、200人の専門家が質問後平均6分で回答してくれるので、病院まで行くほどではない悩みや不安について専門家に相談できます。さらに10月には睡眠相談もできるようにサービスを拡充しました。

※平均回答時間6分は、2014年1～6月の実績です。

※電話での相談は医師ではなく、医療従事者が行います。

カラダの悩みや不安をすぐに質問
『カラダメディカ』

+KARADAMEDICA
カラダメディカ



メールは
毎月3回まで
質問が可能！



3 機器連携サービス

活動量計や体組成計、心拍計で計測したデータは、すべてスマートフォン上で簡単に管理ができます。1日の消費カロリー、歩数、睡眠中のデータ等を簡単に同期してグラフ化したり、睡眠時間や「浅い」「深い」などの本格的な眠りの質も分かります。自分の生活リズムを知ることで、生活習慣の改善や健康管理に役立ちます。

カラダのデータをスマートフォンで管理



4 遺伝子解析サービス

遺伝子解析サービス『DearGene』は、がんや生活習慣病、体質などに関する遺伝子を解析することにより、スマートフォンやPC等で結果を知ることができます。遺伝子の特徴から、かかりやすい病気の傾向とリスクがわかるので、解析結果をもとに生活習慣を見直し、健康管理の意識を高めるきっかけとなります。

※「家族性の病気」に関する遺伝子の解析は行いません。

乳がんや卵巣がん、大腸がんなどには特定の遺伝子が原因となって発症する家族性の病気（単一遺伝子疾患）と、複数ある遺伝要因と生活習慣などの環境要因との相互作用で発症する一般的な病気（多因子疾患）の2種類があります。DearGene では一般的な病気に関する遺伝子を解析対象としており、家族性の病気に関する遺伝子は解析対象としておりません。

体質に関する解析もできる 『DearGene』



結果画面はイメージ画像です。

- がん（生活習慣に関係しているもの）+体質 9,800円（税込）
- がん+生活習慣病+体質 19,800円（税込）

※購入方法：インターネット <https://www.deargene.jp>

※『DearGene』は、経済産業省の「経済産業分野のうち個人情報を用いた事業分野における個人情報ガイドライン」をはじめ、各ガイドラインや基準、法令を遵守してサービスを提供、遺伝情報を匿名化して厳重に管理しています。



連結業績を
ご報告します。

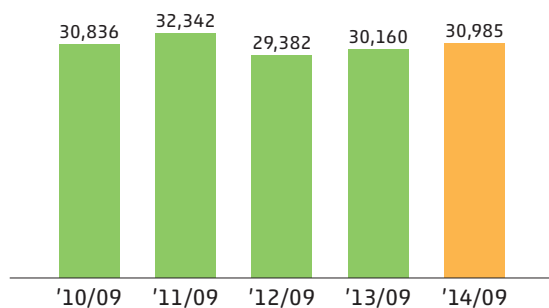


Financial Section

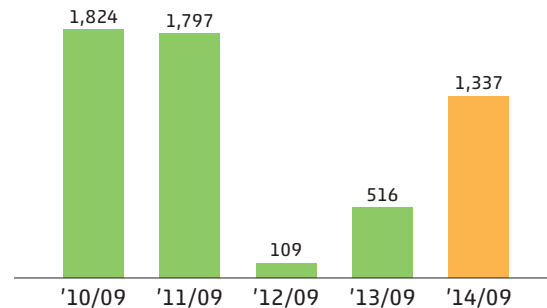


決算データ

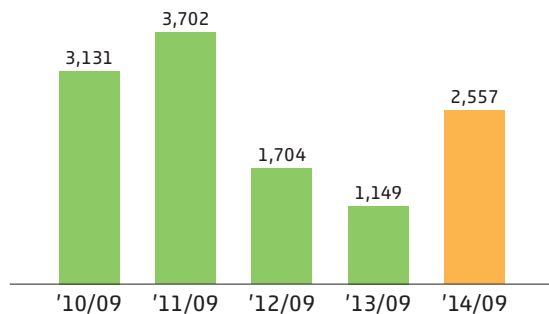
売上高 (単位：百万円)



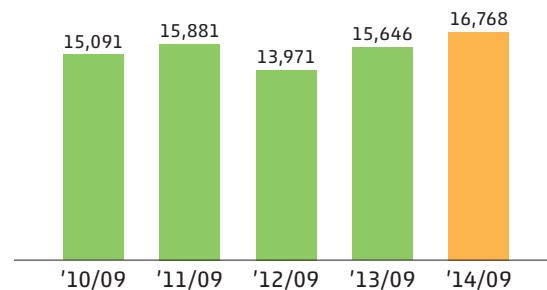
当期純利益 (単位：百万円)



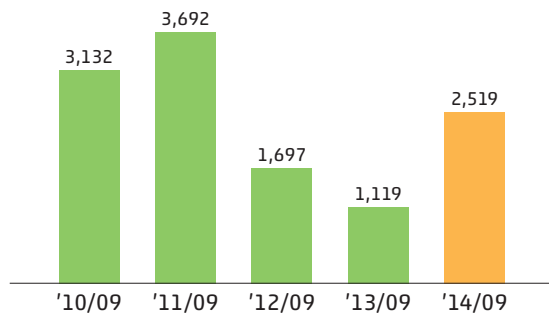
営業利益 (単位：百万円)



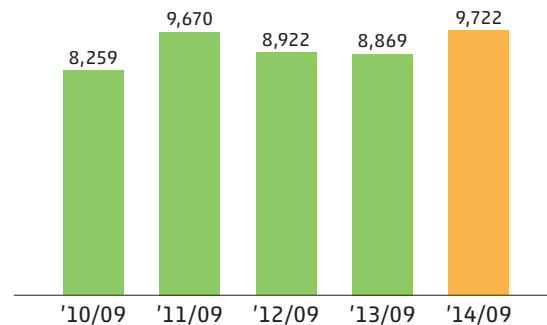
総資産 (単位：百万円)



経常利益 (単位：百万円)



純資産 (単位：百万円)



株主還元

株主還元の基本方針

当社は、企業価値の創造と拡大を通じた時価総額の向上とともに、利益配分を継続的に実施していくことを重要課題として位置付けています。

利益配分にあたっては、「中長期的な売上高・利益の持続的成長と株主への利益還元の調和」という資本政策の基本方針、そして積極的な事業展開に備えるための内部留保を勘案し、総還元性向(※)として中期的に35%を目安に株主還元を行っていきます。

配当金のポイント

- 当期の年間配当金は17円
(直近予想比 +2円)
- 次期の年間配当金は18円を予想
(中間配当:8円、期末配当:10円)

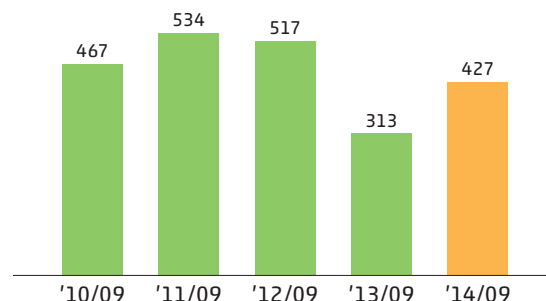
※総還元性向=(配当金総額+自己株式取得総額)÷当期純利益×100

1株当たり配当金

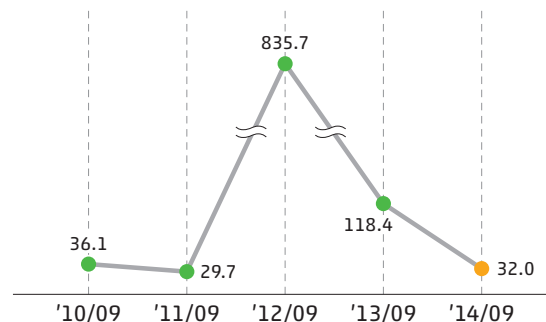
	中間	期末	年間
当期	5円	12円	17円
次期(予想)	8円	10円	18円

当社は、2014年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っています。1株当たり配当金は当該株式分割後の数値を記載しています。

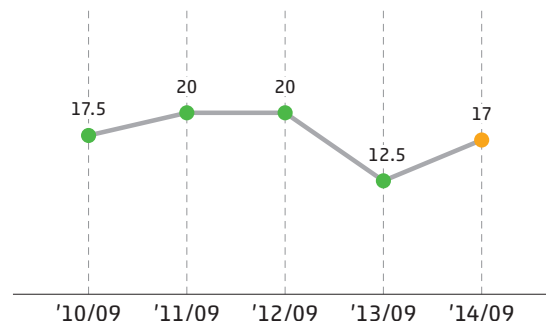
配当金総額 (単位: 百万円)



総還元性向 (単位: %)



1株当たり配当金 (単位: 円)



決算のポイント

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2014年 9月末	2013年 9月末
資産の部		
流動資産 1	12,183	10,768
現金及び預金	4,782	3,416
受取手形及び売掛金	6,294	6,376
その他の流動資産	1,214	1,141
貸倒引当金	△ 108	△ 166
固定資産 2	4,585	4,878
有形固定資産	143	175
無形固定資産	2,177	2,590
うちソフトウェア	2,150	2,346
うちのれん	2	133
投資その他の資産	2,264	2,112
うち投資有価証券	813	714
資産合計	16,768	15,646

連結貸借対照表のポイント

1 流動資産

前期末に比べ14億15百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金が増加したことによるものです。

2 固定資産

前期末に比べ2億93百万円の減少となりました。これは主にソフトウェア、のれんが減少したことによるものです。

3 固定負債

前期末に比べ2億28百万円の増加となりました。これは主に退職給付に係る負債が増加したことによるものです。

4 純資産

配当金の支払いがありましたが、当期純利益として13億37百万円を計上したことにより、8億53百万円の増加となりました。

(単位：百万円)

	2014年 9月末	2013年 9月末
負債の部		
流動負債	5,727	5,687
買掛金	976	942
1年内償還予定の社債	-	78
未払金	2,317	2,334
未払法人税等	674	637
コイン等引当金	277	382
その他の流動負債	1,480	1,311
固定負債 3	1,318	1,090
長期借入金	500	500
退職給付引当金	-	509
退職給付に係る負債	768	-
その他の固定負債	49	80
負債合計	7,045	6,777
純資産の部 4		
資本金	2,596	2,562
資本剰余金	3,111	3,078
利益剰余金	4,305	3,393
自己株式	△ 695	△ 695
その他の包括利益累計額	△ 27	62
新株予約権	206	227
少数株主持分	224	239
純資産合計	9,722	8,869
負債・純資産合計	16,768	15,646



決算のポイント

連結損益計算書

(単位：百万円)

	2014年 9月期	2013年 9月期
売上高 5	30,985	30,160
売上原価	4,988	5,336
売上総利益 5	25,996	24,824
販売費及び一般管理費	23,439	23,675
営業利益 6	2,557	1,149
営業外収益	32	26
営業外費用	69	55
経常利益 6	2,519	1,119
特別利益	86	93
特別損失	376	205
税金等調整前当期純利益	2,229	1,008
法人税、住民税及び事業税	878	603
法人税等調整額	29	△149
少数株主利益 (△は損失)	△16	36
当期純利益 7	1,337	516

連結キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

	2014年 9月期	2013年 9月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,600	3,483
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,867	△2,389
財務活動によるキャッシュ・フロー	△375	△414
現金及び現金同等物に係る 換算差額	8	173
現金及び現金同等物の増減額	1,366	852
現金及び現金同等物の期首残高	3,416	2,563
現金及び現金同等物の期末残高	4,782	3,416

連結損益計算書のポイント

5 売上高／売上総利益

リアルアフィリエイト事業の拡大や、携帯キャリア系月額定額使い放題サービス向けの売上高の拡大等により、309億85百万円(前期比2.7%増)と増収となり、売上総利益も原価率の低い売上高の構成比が増えたことにより259億96百万円(同4.7%増)となりました。

6 営業利益／経常利益

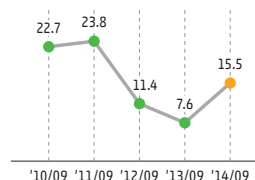
売上総利益の増益に加え、広告宣伝費が前期に比べて減少したことを主因に販売費及び一般管理費が減少したため、それぞれ25億57百万円(同122.5%増)、25億19百万円(同125.0%増)となりました。

7 当期純利益

前期に比べて特別損失や法人税等の増加がありましたが、経常利益の増益により、13億37百万円(同159.0%増)となりました。

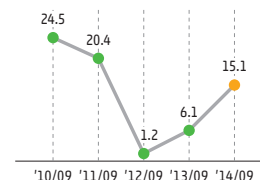
ROA(総資産経常利益率)

(単位：%)



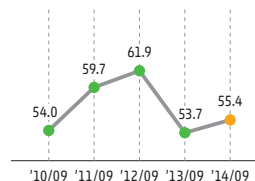
ROE(自己資本当期純利益率)

(単位：%)



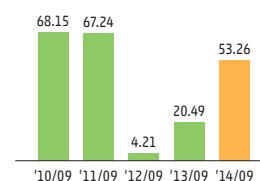
自己資本比率

(単位：%)



1株当たり当期純利益

(単位：円)



当社は、2013年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っています。また、2014年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っています。1株当たり当期純利益は当該株式分割後の数値を記載しています。



会社概要 / 株式情報 2014 年 9 月 30 日現在

会社概要

商号	株式会社エムティーアイ
設立	1996 年 8 月 12 日
資本金	2,596 百万円
本社所在地	〒163-1435 東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティタワー 35F
従業員数	783名 (連結)
URL	http://www.mti.co.jp/

グループ会社

(株)エバージーン、ソーシャルアプリ決済サービス(株)、
(株)ソニックノート、(株)テラモバイル、(株)フィル、
(株)hotarubi、(株)マイトラックス、(株)メディアアノ、
MShift, Inc.、Jibe Mobile(株)、
上海海隆宜通信息技术有限公司、(株)ビデオマーケット

大株主

	持株数(株)	議決権比率
前多俊宏	5,862,800	23.28%
株式会社ケイ・エム・シー	5,048,000	20.05%
株式会社光通信	2,190,400	8.70%
株式会社エムティーアイ	1,630,464	—
シー エム ビー エル, エス エー リ, ミュールチャルファンド (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	523,800	2.08%
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	343,200	1.36%
株式会社昭文社	336,000	1.33%
株式会社バローズ	243,200	0.97%
モルガンスタンレーアンドカンパニー インターナショナルビーエルシー (常任代理人 モルガン・スタンレー MUFG 証券株式会社)	215,400	0.86%
山下 良久	208,900	0.83%

株式状況

発行可能株式総数	89,520,000 株
発行済株式総数	26,810,600 株
株主総数	4,637 名

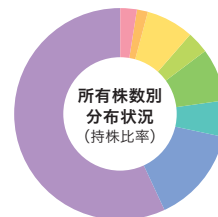
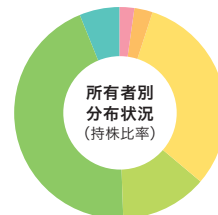
役員 (2014 年 12 月 20 日現在)

代表取締役社長	前多俊宏	取締役	松本 博
取締役副社長	泉 博史	取締役	小名木 正也
取締役副社長	種野晴夫	常勤監査役	箕浦 勤
専務取締役	高橋次男	監査役	中村好伸
専務取締役	清水義博	監査役	崎島一彦
常務取締役	大沢克徳	監査役	大矢和子

株式分布状況

金融機関	2.33%
金融商品取引業者	2.69%
その他法人	31.11%
外国法人等	13.45%
個人・その他	44.33%
自己名義株式	6.08%
1 以上 5 未満	2.56%
5 以上 10 未満	1.76%
10 以上 50 未満	7.24%
50 以上 100 未満	3.29%
100 以上 500 未満	8.11%
500 以上 1,000 未満	5.53%
1,000 以上 5,000 未満	14.61%
5,000 以上	56.90%

※単位：単元



株主メモ

事業年度	10月1日～翌年9月30日
期末配当金受領 株主確定日	9月30日
中間配当金受領 株主確定日	3月31日
定時株主総会	12月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎ 0120-232-711
上場証券取引所	東京証券取引所(ジャスダック) (証券コード: 9438)
公告方法	電子公告により行う URL http://www.mti.co.jp/koukoku/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告します。)

株式に関するお手続きについて

- 1 株主さまの住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

また、各種お手続き用紙のご請求につきましては、以下のお電話ならびにインターネットにより24時間受付けておりますので、ご利用ください。

☎ 0120-244-479 URL <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

※本誌には当社の将来に関連する記述があります。この前提および将来予測の記述には、経営を取り巻く環境の変化などによる一定のリスクと不確実性が含まれていることに留意ください。

Vision

お客様の夢を
どんどん創り出す
『モバイル夢工場』となる
ことを目指します。

